

令和3年度 厚生労働科学研究費補助金（三次公募）課題（案）一覧

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究期間 (年)
臨床研究等ICT基盤構築・ 人工知能実装研究事業 (AC)	ICTを用いた医師の客観的かつ効率的な労働時間管理に資する研究(AC-1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師の客観的かつ効率的な労働時間管理に関する知見の創出</li> <li>医師の労働時間短縮の取組につながる業務実態の把握に関する知見の創出</li> <li>医師の客観的な労働時間管理に資するICT基盤の構築</li> </ul>	30,000	1	3
	AI技術を用いた保健師助産師看護師国家試験の問題作成支援に向けた研究(AC-2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>AI技術を活用した試験問題作成支援について、看護師等国家試験の特性を踏まえ、必要な手法、データ、システム等の要素を検討する。</li> <li>AI技術を活用した看護師等国家試験の問題作成を試行的に行い、実際に作成した問題について、内容、選択肢、難易度等の信頼性、妥当性等の評価を行う。</li> <li>看護師等国家試験においてCBT導入を検討するための、AI技術を用いた問題作成支援における課題及びその解決策の提示を行う。</li> </ul>	10,000～ 15,000	1	3
	AIを活用した医療機器の開発・研究におけるデータ利用の実態把握と課題抽出に資する研究(AC-3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本における学術研究機関や企業(ベンチャーを含む)等におけるAIを活用した医療機器の開発・研究に使用される教師用データや性能評価用データについて、収集基盤やデータ利用の実態調査結果</li> <li>欧米及び韓国を含む諸外国でのAI医療機器の開発及び性能評価におけるデータ利用の実態調査結果</li> <li>AIを活用した医療機器の性能評価において、仮名加工情報を利用する場合の課題を整理した報告書</li> <li>上記の成果物は、個人情報保護委員会等での活用が可能な形とすること</li> </ul>	5,000	1	1
研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究期間 (年)
健やか次世代育成総合研究事業(DA)	【再公募】低出生体重児等の成長・発達評価手法の確立のための研究(DA-1)	<p>本研究では、低出生体重児等について、概ね3歳までの成長・発達の現状を把握し、低出生体重児等を対象とした成長曲線を作成すること、また、今後の認知発達等の評価手法の検討に向けた知見を蓄積すること等を目標とする。</p> <p>具体的には以下の3つを想定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>概ね3歳までの低出生体重児の成長・発達の実態把握</li> <li>低出生体重児等を対象とした成長曲線等評価ツールの作成</li> <li>評価ツールに基づいた、今後の認知発達等のフォローアップ体制の提案</li> </ul>	4,000～ 8,000	1	2
研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究期間 (年)
障害者政策総合研究事業(GC)	市町村及び保健所保健師等の精神保健福祉業務に係る業務量の把握及び地域包括ケアシステムの構築に向けた必要な業務量の算定に資する研究(GC-1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村等を基礎自治体とした精神障害にも対応した地域包括ケアシステムを構築するために必要な以下の資料を作成する。</li> <li>市町村及び保健所に勤務する保健師、精神保健福祉士の精神保健福祉部門における配置状況及び精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築にかかる業務内容・業務量の実態を示す資料</li> <li>精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に必要な市町村及び保健所に勤務する保健師、精神保健福祉士を含む専門職員や行政職員の人員の配置状況、業務内容・業務量と業務の負担の現状を示す資料</li> <li>保健師及び精神保健福祉士等の業務量や配置、就労状況等に関する既存の統計調査等との比較・検証した資料</li> <li>業務量調査等の結果を踏まえ精神障害にも対応した地域包括ケアシステムを実装するために必要とされる人員数の推計結果及びその妥当性を示す資料(研究班が作成した原著論文、研究班で収集した論文集等)</li> </ul>	9,000	1	1

	デジタル機器及びソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)の使用がメンタルヘルスに与える影響の解明のための研究(GC-2)	メンタルヘルスに影響を及ぼしているのではないかと指摘されている、デジタル機器及びSNSの利用について、以下の点について、国内外での研究の系統的レビューを実施し、その影響の因果関係に関する知見(メタアナリシスの結果等)を示す。 ・デジタル機器及びSNS使用のメンタルヘルスに与える影響(ブルーライトと睡眠障害、二次的な気分障害等) ・デジタル機器及びSNS使用の脳内生理に与える影響(神経伝達物質の変化等についての基礎研究や脳画像研究等) ・デジタル機器及びSNS使用に関する心理学的影響(承認欲求や自己効力感、またはその逆の影響等)	5,000	1	1
--	--	---	-------	---	---

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究期間 (年)
地域医療基盤開発推進研究事業(IA)	医療現場や医療機関等における情報利活用の環境整備に向けた医療用語の標準化に資する研究(IA-1)	・医療現場や医療機関等で情報を活用する際に用いられる医療用語集に関して、国内外におけるICD-11(International Classification of Diseases)やSNOMED CT(Systematized Nomenclature of Medicine-Clinical Terms)、LONIC(Logical Observation Identifiers Names and Codes)等の医療用語関連の標準化の有無や内容、活用実態等を調査し整理すること。 ・ICD-11等の医療用語集について、医療現場等での情報利活用や次世代の規格であるHL7 FHIR(Health Level7 Fast Healthcare Interoperability Resource)等を用いた医療文書等に適用する上での具体的な方法や課題、現行の標準規格の見直し方法を明らかにすること。 ・標準的な医療用語集案の作成は、医療現場での具体的な活用事例にもとづいて実施することとし、さらに電子カルテ等の医療情報システムへの適用を想定したシミュレーション等を実施すること。 ・上記活用事例やシミュレーション等では、例として、厚生労働省「EBM(根拠に基づく医療)普及推進事業」で診療ガイドラインの活用促進を行うMindsガイドラインライブラリ( <a href="https://minds.jcqh.or.jp/">https://minds.jcqh.or.jp/</a> )等にて、医療従事者や患者・市民等による利活用の向上を目的とし、検索機能、カテゴリー分類等の利便性の改善等に向けた医療用語集の活用等を対象とする。また診療報酬の請求で広く用いられているレセプト情報等の医療情報を対象とする等、特定の領域におけるユースケースにもとづいて実施することでも差し支えない。 ・本医療用語集案は、学会や関係団体等とともにとりまとめること。 ・作成した医療用語集案について、関係者へのパブコメ等を実施し、活用・実装面での課題点や費用対効果等を洗い出すとともに、現場での活用方針を取りまとめること。	2,500~ 3,000	1	2
	救急医療等における基盤整備のための情報項目等の標準化に資する研究(IA-2)	・救急医療等について、必要な標準的な情報項目等を選定すること。また厚生労働省が検討会等で検討している項目や厚生労働省標準規格化を進めている電子的仕様を含め、国内外における救急医療等での医療情報の利活用事例を調査し、救急医療等に必要な項目等を整理すること。 ・本項目をJLAC11(Japan Laboratory Code Version 11)等の次世代の医療用語集に適用して、規格仕様書案の作成に向けた用語・コードや情報交換規格等の整理を行うこと。 ・救急医療等で必要な標準的な項目等の選定、標準規格仕様書案の作成に係る整理等について、関係者へのパブコメ等を実施し、学会や関係団体等とともにとりまとめて当該学会や関係団体等で承認を得ること。 ・上記を踏まえ、本格運用に向けて救急医療現場での運用事例を想定した課題点等を抽出するとともに、現場での活用方針を取りまとめること。	2,500~ 3,000	1	2
	【再公募】医療機関における院内感染対策の質向上のための研究(IA-3)	・新型コロナウイルス感染症への対応に際し医療現場において生じた院内感染対策上の課題を、多様な医療機関を対象に調査した上で整理し、各課題への対応策を検討すること。 ・なお、調査及び対応策の検討に当たっては、多数の感染症患者や感染症が疑われる患者を一般病床等で診療する際に必要となるゾーニング等の考え方や、備蓄等の平時からの準備について必ず考察し、国内外の文献やガイドラインも参照すること。 ・検討した対応策を取りまとめ、医療機関が作成する院内感染対策のための指針の見直しに利用可能な具体的なマニュアル等を作成すること。 ・感染症の流行状況に応じて、医療機関の院内感染対策に資する提言及び基礎資料の作成等を行うこと。	4,500	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究期間 (年)
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業(KC)	【再公募】医薬品等のインターネット販売に対する監視指導手法の研究(KC-1)	主に、海外における医薬品等のインターネット販売に係る監視手法、日本国内のインターネット販売サイトにおける出品時確認項目の実態、国内の個人間取引における医薬品、医療機器等の販売実態について調査し、とりまとめた上で、より効果的な監視指導手法について検討を行う。	3,000~ 4,000	1	3